

### 11月19日 市商工会青年部泗水支部 清掃作業でまちを少しでもきれいに

市商工会青年部泗水支部(川口和彦支部長・永)の15人が道の駅泗水周辺や国道387号沿いを中心に清掃作業を実施。一昨年に続き昨年もコロナ禍のため、泗水孔子公園夏まつりが開催できなかったことを受け、清掃を行いました。



川口支部長は「清掃作業を行ったことで、きれいになったようで良かった。今後も継続していきたい」と話していました

### 11月21日 矢護神社(湯舟) 湯舟神楽が奉納されました

矢護神社で、湯舟神楽(市指定無形民俗文化財)が行われました。神社では11時頃から神事が行われた後、神楽を奉納。区民や子どもたちが見守る中、太鼓・笛の各1人、舞人4人で4つの舞が披露されました。



地区の人は「神楽の後継者問題で頭を悩ませる中、若い人たちが真面目に取り組んでくれているのでありがたい」と話していました

### 11月24日 田島保育園 園児がサトウキビの収穫に挑戦

田島保育園の園児34人が同園の畑でサトウキビを収穫。園では食育・農育のために、毎年、サトウキビを育て収穫し黒蜜を作っています。サトウキビは後日、保護者と一緒に専用の機械を使い黒蜜にし、給食のおやつに使われました。



園児たちは自分より背の高くなったサトウキビを持ち、「大きい!」「食べるのが楽しみ!」と小さな手で一生懸命に皮をむいていました

### 11月19日 歴史的価値を残すために 太田黒家住宅が国登録有形文化財へ

国の文化審議会で生味の「太田黒家住宅主屋」と「太田黒家住宅蔵」を国登録有形文化財(建造物)にするよう、文部科学大臣に答申されました。今後、正式に登録予定で、登録されれば市内では8・9件目となります。



太田黒家は江戸時代、日田往還の番所(関所)の役人を代々務めました。太田黒家は個人の所有で、現在は一般公開されていません

### 11月20日 平和と戦争の記憶を継承するために 中学生が戦争体験の紙芝居を披露

泗水中学校の生徒が、菊池飛行場の元少年飛行兵の戦争体験談を基に制作した紙芝居を泗水公民館で披露。生徒たちは「花房(菊池)飛行場の戦争遺産を未来につたえる会」の協力の下、制作。一生懸命に読み聞かせを行いました。



紙芝居を見た人たちは、「当時の様子を知ることができ、戦争の怖さを改めて感じた」と話していました。今後は市内の小学校で語り継いでいく予定です。デジタル紙芝居としてきくち圏域電子図書館でも閲覧可 → 

### 11月23日 子育て世代の親の交流の場を タンクカルムが子ども食育食堂を開催

(一社)タンクカルムによる子ども食育食堂が代表の山口法子さん(深川)の自宅で開催され、30人以上の親子が参加しました。防災士の宇野木康子さん(間所)による子ども防災学習会もあり、災害時に手軽にできる料理法を学びました。



参加者は豚汁やおにぎりなどを味わいました。山口代表は「地域に安心できる場をつくりたい」と企画。今後は月1回、開催予定です

### 11月6日 稗方の延寿鍛冶の調査・研究に貢献 柴田寛さんが県文化財功労者表彰を受賞

柴田寛さん(稗方)が令和3年度熊本県文化財功労者に選ばれました。元市文化財保護委員会副会長の柴田さんは、市文化財保護委員会委員として稗方の延寿鍛冶の調査・研究に貢献。郷土の文化財の保護や普及に努めてきました。



柴田さんは「菊池の歴史や刀鍛冶のことをもっと多くの方に知ってもらいたうために頑張っていきたいです」と話しました

### 11月18日 九州ティ・エス(株) 子どもたちの安全を願って横断旗を寄贈

九州ティ・エス(株)が横断旗を市内の小中学校へ寄贈。佐藤仁俊代表取締役社長は「子どもたちの安全確保のために活用してほしい」と話しました。横断旗は子どもたちの登下校時の安全のために大切に活用します。



◎から音光寺以章教育長、市校長会会長で泗水西小学校の津幡光浩校長、九州ティ・エス(株)の佐藤代表取締役社長

### 11月18日 法務大臣感謝状伝達式 人権擁護委員の隈部実千代さんが受領

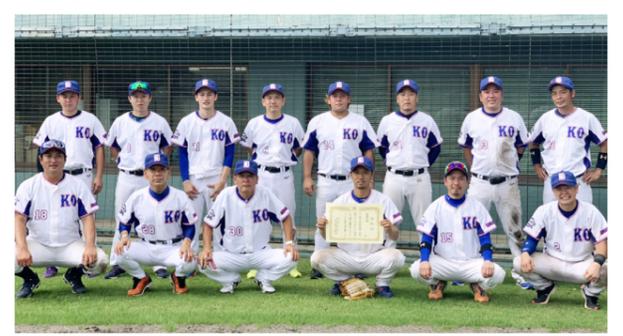
隈部実千代さん(井戸方)が昨年10月1日付けの人権擁護委員の退任にあたり、法務大臣から感謝状を贈呈されました。隈部さんは2期6年にわたり人権相談や福祉施設、企業へ訪問し、人権啓発活動に尽力してきました。



隈部さんは「学ぶことがたくさんあった。今後は認知症アドバイザーとして地域の一人暮らしの方と関わっていきたい」と語りました

### 10月24日 高松宮賜杯第65回全日本軟式野球大会 全国大会にKOOB野球クラブが出場

KOOB野球クラブ(田中修一監督・桜山二)が高松宮賜杯第65回軟式野球熊本県大会で優勝し、リブワーク藤崎台球場で開催された全国大会に出場しました。全国大会では、一対団結し試合に挑み、2回戦で惜敗しました。



同クラブは、昨年の八木杯軟式野球大会、県会長旗軟式野球大会も制覇しています

### 11月17日 菊池市文化会館 菊農生が花壇を冬の花に植え替え

菊池農業高校の生徒9人が市文化会館の花壇の花を冬に向けて植え替えました。約2時間かけて、ピオラやハボタンなどの冬の花を植えました。近くを通った際には、寒さの中でも美しく咲いている花々をお楽しみください。



5月に植えた花や雑草を抜き、花壇をきれいにした後に生徒たちが育てた花の苗を丁寧に植えました

### 11月18日 功労者国土交通大臣表彰 重味椿会が「みどりの愛護」を受賞

重味椿会が第32回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。同会は平成24年から道園地区の耕作放棄地にツバキなどの花を植え、景観を改善。地区全体の公園化を進め、地域活性化に尽力してきました。



◎から岩永誠副会長(道園)と野満昭夫さん(道園)。岩永会長は「若い世代と共に、これからも活動に励んでいきたい」と話しました

### 12月15日 岩本天神祭(おてんじんさん祭り) 岩本神楽が奉納されました

岩本区の岩本巻天神の棕の木(市指定文化財・天然記念物)前で、岩本神楽(市指定無形民俗文化財)が行われました。神楽は40代男性を中心とする岩本神楽保存会により、夏祭りと秋祭り、岩本天神祭の年3回奉納されています。



本神楽は明治4年に村民の幸福と豊かな生活を祈願するため始められました。棕の木に巻かれたしめ縄が早く腐った年は豊作になるといわれています

### 12月13日 熊本高等専門学校 小学生がプログラミングに触れました

熊本高等専門学校の学生が開発したプログラミング教材と遠隔システムの実証実験が花房小学校で行われました。学生開発のシステムで教室間をつないだ後、児童たちは学生が作成したゲームを体験しました。



児童らはゲームを体験しながら、ゲームの裏側はどのようにしているのかなどプログラミングの基本や中身について楽しく学びました

### 11月27日 大学生がまち中をフィールドワーク 動画を活用して菊池の魅力を発信

九州産業大学と熊本県立大学、U-Bito JAPAN(株)(村上貴志代表)が協力し、動画を活用した観光客誘致のための取り組みを実施。学生の感性や行動力を生かし、地域活性化や人材育成を目的とした「域学連携事業」の一環で行いました。



学生ら23人はまち歩きをしながら、菊池一族の史跡や風景を撮影。動画は菊池ファンクラブのホームページで公開しています

### 11月26日 菊池南中学校栽培委員会 市役所前の花壇が花いっぱい

菊池南中学校の栽培委員会が市役所庁舎前の花壇に花を植えました。菊池南中学校は昨年、市主催のガーデニングコンテストで団体部門金賞を受賞し、学校正門前の花壇も日頃からきれいに整備しています。



市が花房台に誘致した(有)竹内園芸から提供された花を活用しました。市役所前の道路沿いの花壇が花いっぱいになりました

### 12月16日 ハクゾウメディカル(株) 企業版ふるさと納税を寄附

医療等衛生材料メーカーのハクゾウメディカル(株)が市第1号となる企業版ふるさと納税を寄附しました。寄附金は、「菊池市まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づき、健康分野の予防接種事業で有効に活用します。



江頭実市長(左)がオンラインで感謝状を贈呈。一橋俊司代表取締役社長(テレビ画面内)は「七城に工場を進出して50年。今後も市の発展に携わりたい」と話しました

### 12月15日 菊池ロータリークラブ 市内の全小中学校へモルックを寄贈

菊池ロータリークラブ(杉田不二男会長・高永)が市内すべての小中学校と放課後クラブへ計71セットのモルックを寄贈。当クラブは令和3年度に創立50周年を迎えるため記念事業として、青少年育成事業の一環で寄贈しました。



寄贈に伴い、市教育委員会はスポーツ推進委員と協力し、七城中学校1年生の体育でモルックのルールとマナーをレクチャーしました

### 11月29日 赤星菅原神社(下赤星) 赤星天満宮神楽が奉納されました

赤星菅原神社の天満宮祭で、赤星天満宮神楽(市指定無形民俗文化財)が行われました。赤星天満宮神楽は初舞、御願立て、風止め、天満宮祭の年4回奉納されています。当日は寒い中にも関わらず、多くの人が訪れていました。



子ども神楽もあり、子どもたちはこれまでの練習の成果を披露。その後、地元の20~40代の男性で構成される赤星神楽連の奉納が行われました

### 11月28日 秋の「城山の日」清掃ボランティア 菊池公園や市民広場一帯をきれいに

毎年開催している秋の「城山の日」清掃活動を実施しました。菊池公園や市民広場一帯を約1時間半かけて約400人で清掃。ごみ拾いや落ち葉掃き、カズラ取りなどを行い、早朝から額に汗を流しました。



毎年、春と秋に「城山の日」と称して清掃活動を行っています

### 12月18日 住吉日吉神社(上住吉) 住吉日吉神社神楽が奉納されました

住吉日吉神社で、住吉日吉神社神楽(市指定無形民俗文化財)が行われました。神楽の構成は太鼓・笛の各1人、舞人3人で2つの舞を披露。神楽の「奉剣の座」を奉納後、玉串が献上され神事は終了。その後、神楽が一座行われました。



本神楽を運営する住吉日吉神社神楽組は、明治39年に上住吉在住の青年有志によって発足。昭和46年に保存会が組織され、神楽を受け継いでいます

### 12月16日 菊池北小学校 小学生が地域の歴史や平和を学習

菊池北小学校が、坂本博さん・栄子さん夫妻(高野瀬)を講師に、地域の歴史や西南戦争、第2次世界大戦に関する平和学習を実施。児童は菊池公園周辺の史跡を訪れ、夫妻の話に耳を傾けながらメモを取っていました。



児童は「学校の近くで起きた出来事を知ることができた。今度、お父さんやお母さんと一緒に見に来ようと思います」と話しました

### 12月4日 エスディーエス SDGsのワークショップを開催 高校生が菊池の未来を語り合いました

SDGsを積極的に推進する(一社)菊池青年会議所と市が共催し、「菊池未来図 by SDGs」と題しワークショップを開催。菊池高校、菊池女子高校、菊池農業高校から30人の生徒が参加しました。市は昨年SDGs未来都市に認定されています。



SDGsや市の政策などについての講話やカードゲームを通し、菊池の未来について考え、語り合う貴重なひとときとなりました

### 11月29日 菊池温泉安全きれいな街づくり会議 防犯カメラでより安全・安心な温泉街へ

商工会や観光協会などでつくる「菊池温泉安全きれいな街づくり会議」(笠愛一郎代表世話人・生味)は、立町区交差点と正観寺交差点に防犯カメラを設置。本団体は犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進のため活動しています。



笠代表世話人は「防犯強化・犯罪防止の一助としてカメラを設置することで、市民や観光客の安心感につながれば」と話しました